

福島地方環境事務所の最近の動き (今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・除染特別地域（直轄除染）の仮置場等における保管物数は、平成 31 年 1 月の 1 ヶ月間に約 12 万袋減少しました。また、この期間において 1 箇所で原状回復が完了しました

< 直轄除染の仮置場等の進捗状況（1/31 時点） >

保管中	搬出完了	うち原状回復完了
206 箇所	116 箇所（約 36%※）	67 箇所（約 21%※）

※ 仮置場等の総数 322 箇所に対する比率

○ 中間貯蔵施設関連

- ・中間貯蔵施設の見学会（第 1 回）を開催しました（2/27）

< 除去土壌等の輸送の進捗状況（2/26 時点） >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 162.9 万 m ³	約 90.5 %
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 241.4 万 m ³	約 17.2 %

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です
- ・震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート 6」（第 3 回）が放送されます（3/5）
- ・「くるまざカフェ ふくしま“みち”さがし 2019」を実施しました（2/23）

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。

詳細は別添 1-1、1-2、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1-1、1-2 のとおり

- 除染仮置場等の状況について

- ・除染特別地域（直轄除染）における除染仮置場等の状況について（平成 30 年 1 月 31 日時点）

前回（12 月 31 日時点）と比較して、除染特別地域（直轄除染）の仮置場等における保管物数が約 12 万袋減少し、約 593 万袋となりました。また、1 箇所の仮置場（檜葉町）で原状回復が完了しました。なお、1 月に搬出完了した仮置場等はありません。これにより、除染特別地域の総仮置場数 322 箇所のうち、搬出完了したものが 116 箇所（約 36%）、さらにそのうち原状回復完了したものが 67 箇所（約 21%）となりました。

なお、1 月 31 日時点で 5 箇所の原状回復工事を実施中です。

詳細は別添 4 のとおり

※仮置場等からの搬出先は、中間貯蔵施設の他に減容化施設もあること等から、仮置場からの搬出量と中間貯蔵施設への搬入量とは一致しない。

- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 5 のとおり

Ⅱ. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

- 中間貯蔵施設の見学会（第1回）を開催しました（2/27）。

県民の方や福島復興に関係する企業・団体の方など17名が参加され、バスから施設や工事現場をご覧いただき、中間貯蔵施設事業への理解を深めていただきました。次回の見学会の日程については、中間貯蔵工事情報センターのウェブサイト等でお知らせします。

- 除去土壌等の輸送の進捗状況（2/26時点）

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 162.9 万 m ³	約 90.5 %
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 241.4 万 m ³	約 17.2 %

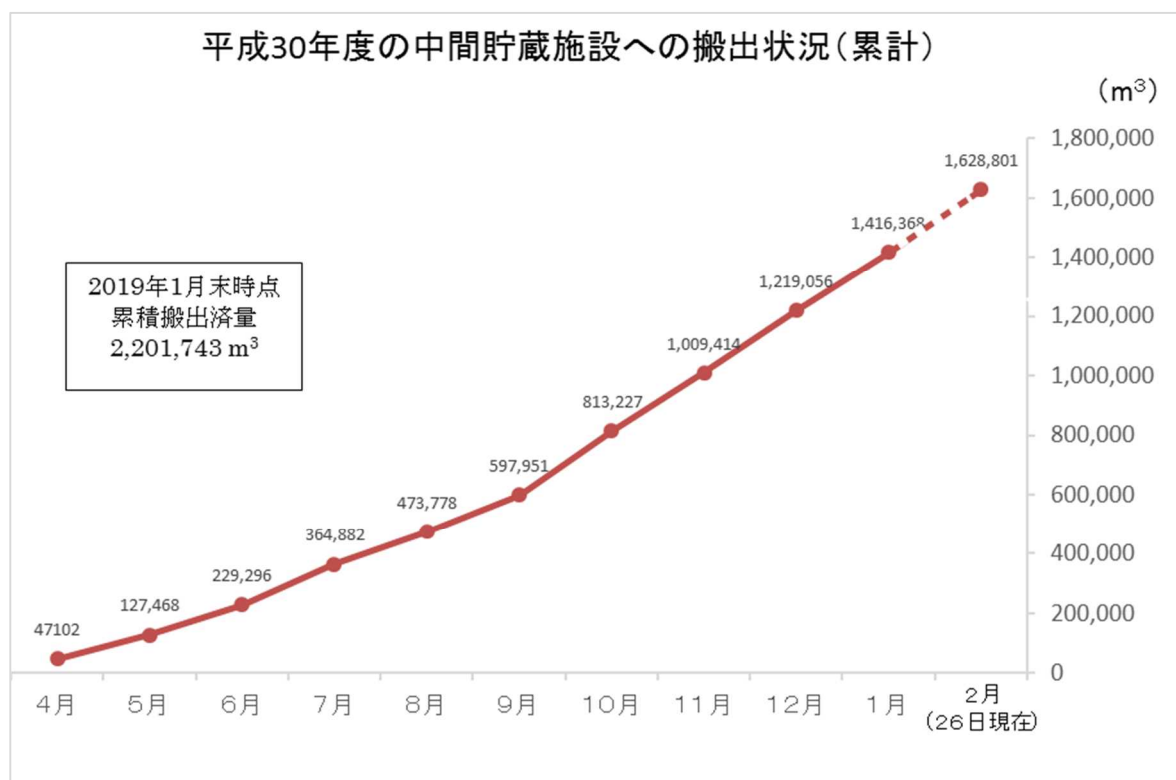
(2) 平成30年度の進捗状況

- 除去土壌等の輸送

（2月26日までの搬出実績）

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	27,353	49,775
	相馬市	16,100	－	7,964	24,910
	南相馬市	113,200	－	95,327	125,052
	広野町	31,900	－	28,698	39,739
	檜葉町	72,400	－	76,375	116,097
	富岡町	162,400	－	148,864	192,313
	川内村	42,400	－	43,912	58,531
	大熊町	147,000	－	112,568	165,540
	双葉町	132,700	－	95,511	142,459
	浪江町	130,300	－	105,837	142,500
	葛尾村	71,400	－	73,557	90,086
	飯舘村	151,600	－	140,368	168,665
中通り	福島市	78,700	20,000	75,306	100,220
	郡山市	67,200	20,900	119,268	182,636
	白河市	33,800	100	38,960	63,521
	須賀川市	22,000	3,600	30,939	45,864
	二本松市	50,000	－	49,933	93,714
	田村市	47,800	300	47,694	76,769

	伊達市	62,600	6,000	57,998	78,940
	本宮市	20,600	－	20,626	43,911
	桑折町	19,200	－	17,792	34,473
	国見町	16,300	－	14,903	26,267
	川俣町	71,600	－	57,712	80,028
	大玉村	13,700	－	14,073	23,338
	鏡石町	0	300	323	7,980
	天栄村	16,100	－	14,577	24,286
	西郷村	54,900	－	55,006	76,095
	泉崎村	15,200	－	15,800	26,231
	中島村	6,400	－	5,845	14,150
	矢吹町	13,900	－	11,183	20,789
	三春町	24,400	－	24,529	42,147
	合計	1,728,000	59,000	1,628,801	2,414,176※



※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

※ 中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018年8月末、市町村除染市町村：2018年6月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018年8月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点））の合計量。

※ 10万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。

※ 累積搬出済量の合計値には、2018 年 6 月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

（１）最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 富岡町において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しました（2/20～23）。
- 富岡町において、第 3 回相談員合同ワークショップを開催します（3/8）。
- 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート 6」（第 3 回）が放送されます。今回のテーマは「中間貯蔵施設の整備はどうなっているの？」です。ぜひご覧ください。
 - ・放送予定日時：3 月 5 日（火） 21:50～
 - ・放送局：K F B 福島放送

※放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

（今後の放送予定）

第 3 回：平成 31 年 3 月 5 日（火）

第 4 回：平成 31 年 3 月 12 日（火）

- 環境再生プラザは「くるまざカフェ ふくしま“みち”さがし 2019」開催しました。

本イベントは、昨年 10 月および 11 月に実施した浜通り地方を訪ねる「ふくしま“みち”さがし」体験プログラムを通して感じた気付きを共有するトークセッションと来場されたみなさまと一緒に『未来に向かって、今できることは何か？』を考えるワークショップが行われました。

詳細は別添 6 のとおり

(2) これまでの実施状況

(3月1日時点)

項 目		実施回数	
		H29 年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77 回	35 回
	(イ) 専門家派遣	47 回	18 回
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72 回	38 回
	(イ) 車座意見交換会	62 回	54 回
	(ウ) 個人線量測定の実施(WBC)	83 日	82 日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日	180 台・日
③環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	142 件	146 件
	(イ) 移動展示	42 件 [55 日]	44 件 [60 日]

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度南相馬市仮置場復旧等工事 (H31/1/23～) ※H31. 2 月に着工 ○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8～) ※H30. 9 月に着工
浪江町	○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15～) ※H30. 7 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20～)</u> ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/29～)</u> ※H31. 2 月に着工 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4～)</u> ※H29. 12 月に着工 <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10～)</u> ※H30. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
大熊町	○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19～) ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25～)</u> ※H30. 3 月に着工 <u>○平成 30 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/24～)</u> ※H31. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事名
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22～) ※H29.6 月に着工 ○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(その 1)(H30/8/7～)</u> ※H30.8 月に着工 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H29/12/27～) ※H30.3 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中
檜葉町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5～) ※H30.8 月に着工 ○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9～) ※H30.7 月に着工
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※H30.4 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(H30/9/5～)</u> ※H30.9 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13～) ※H30.6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了
川俣町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29～) ※H30.6 月に着工
葛尾村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)葛尾村仮置場復旧等工事(その 2) (H30/6/20～) ※H31.2 月に完了 ○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9～) ※H30.11 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

各市町村における被災家屋等の解体進捗状況

(平成31年2月末時点)

平成31年3月1日

市町村		解体受付 申請件数 ※	解体済件数	解体申請 受付状況
南相馬市		2,635	2,626	受付終了
浪江町		4,200	2,571	特定復興再生 拠点区域受付中
	特定復興再生拠点区域	161	2	
双葉町		631	241	受付中
	特定復興再生拠点区域	602	213	
大熊町		824	301	受付中
	特定復興再生拠点区域	724	207	
富岡町		3,313	2,583	特定復興再生 拠点区域受付中
	特定復興再生拠点区域	459	163	
楡葉町		1,577	1,557	受付終了
飯舘村		1,513	1,243	受付終了
	特定復興再生拠点区域	70	0	
川俣町		329	329	受付終了
葛尾村		457	413	特定復興再生 拠点区域受付中
	特定復興再生拠点区域	27	0	
田村市		19	19	受付終了
川内村		102	102	受付終了

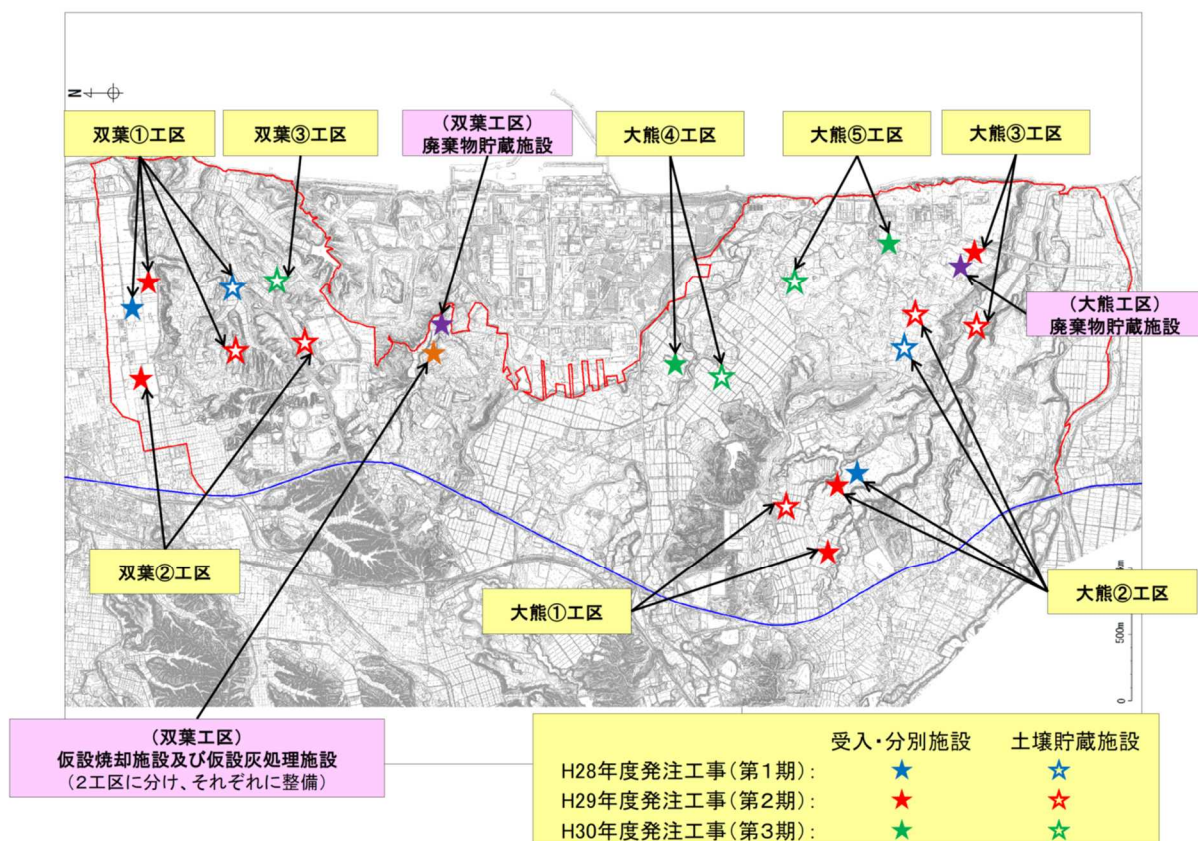
注：1) ※当初申請数から取下げ件数を除いた件数

2) 特定復興再生拠点区域の件数は総数の内数

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.10 月に着工、H30.9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30.1 月に着工、来年度春に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.11 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.9 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29.11 月に着工、H30.10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30.9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※H30.12 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30.10 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（双葉町）（H31/1/10～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）（H31/1/10～）
廃棄物関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※H30.6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※H30.7 月に着工、H31 年度内に稼働予定
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）
	○平成 30 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H30/12/22～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（双葉町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（大熊町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（双葉町） （H31/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（大熊町） （H31/1/19～）

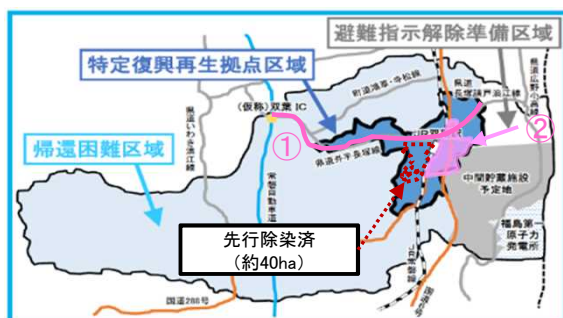


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2019年3月1日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

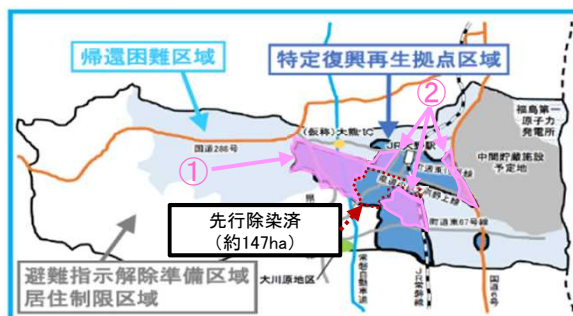
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】: 2017.12.25着工

- ①復興シンボル軸(解体55件、除染約7ha): 実施中
- ②駅東地区(解体640件、除染約90ha): 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】: 2018.3.9着工

- ①下野上西地区(解体460件、除染約160ha): 実施中
- ②駅周辺西地区、国道6号線沿線、下野上南地区(解体300件、除染約140ha): 実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】: 2018.5.30着工

- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha): 完了
- ②室原、末森、津島地区(解体60件、除染約30ha): 実施中
- ③室原、末森、津島地区(解体100件、除染約260ha): 実施中

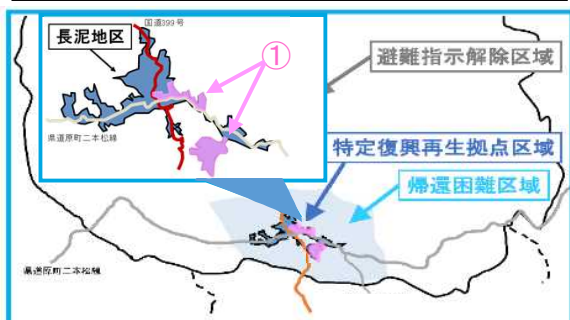
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】: 2018.7.6着工

- ①夜ノ森駅周辺(除染約0.3ha): 完了
- ②拠点北地区(解体300件、除染約80ha): 実施中

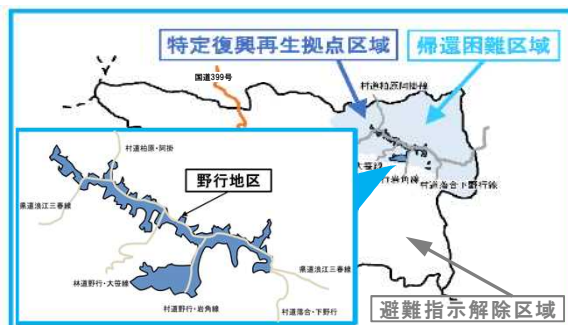
飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



【工事状況】: 2018.9.28着工

- ①長泥地区の居住促進ゾーン(解体20件、除染約30ha): 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】: 2018.11.20着工

- ①野行地区(解体10件、除染約0.5ha): 実施中

※ 一部周辺地区においても解体・除染工事等を実施中

除染仮置場等の状況について

■福島県全体

2019年3月1日

仮置場等の状況

直轄除染 2019年 1月31日時点
市町村除染 2018年12月31日時点

	仮置場等の総数	うち 保管中	うち 搬出完了	うち 原状回復完了 (返地済み)
除染特別地域 (直轄除染)	322	206	116 (36%)	67 (21%)
汚染状況重点 調査地域等 (市町村除染)	996	727	269 (27%)	203 (20%)
合計	1,318	933	385 (29%)	270 (20%)

(出典) 汚染状況重点調査地域等(市町村除染)は、「市町村が設置する仮置場の整備状況等について(平成31年2月25日福島県生活環境部除染対策課 公表資料)」より環境省作成。

注1) 仮置場等 : 仮置場のほか、一時保管所、仮仮置場等を含む。

注2) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。

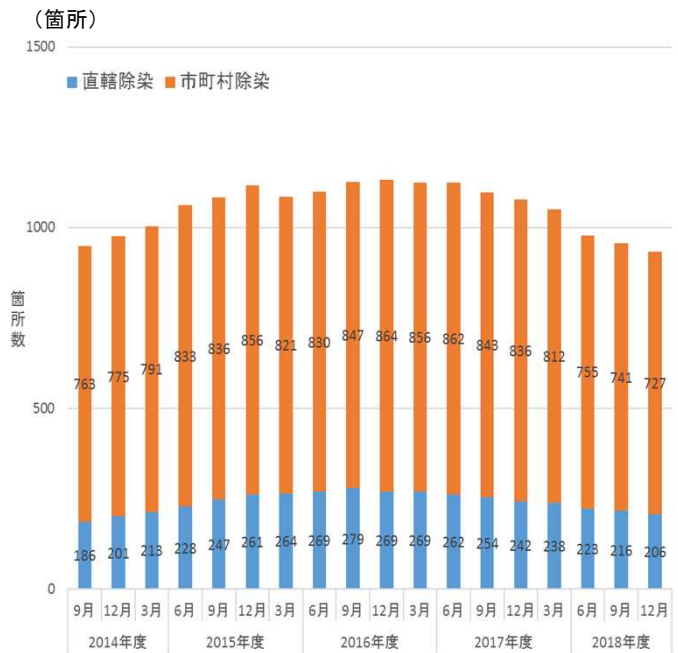
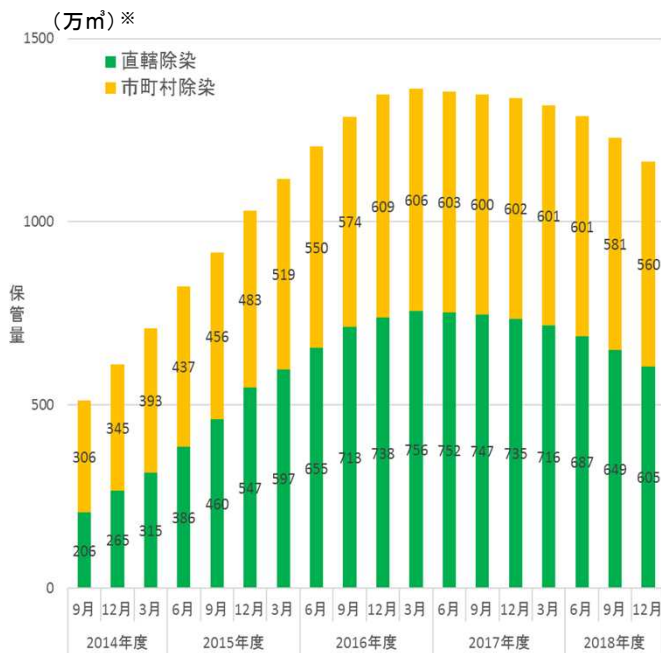
注3) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了し、原状回復等の作業中の仮置場等を示す。

注4) 原状回復完了(返地済み) : 原状回復等が完了、または、地権者へ返地した仮置場等を示す。

注5) 搬出完了及び原状回復完了の欄に記載の(%)は、仮置場等の総数に対する割合を示す。

【除去土壌等の保管量の推移】

【仮置場等の箇所数の推移】



注1) 保管量 : 仮置場等で保管している数(保管物数)。1袋当たりの保管物の体積は、おおむね1m³(ただし、保管物の体積減少により、1袋が1m³より小さくなる場合もある)。

なお、市町村除染分には、現場保管分を含む。

注2) 箇所数 : 保管中の仮置場等の箇所数。

ただし、市町村除染の2018年3月時点以前については、返地前の仮置場等数(「その他の仮置場」は除く)である。

■ 除染特別地域（直轄除染）

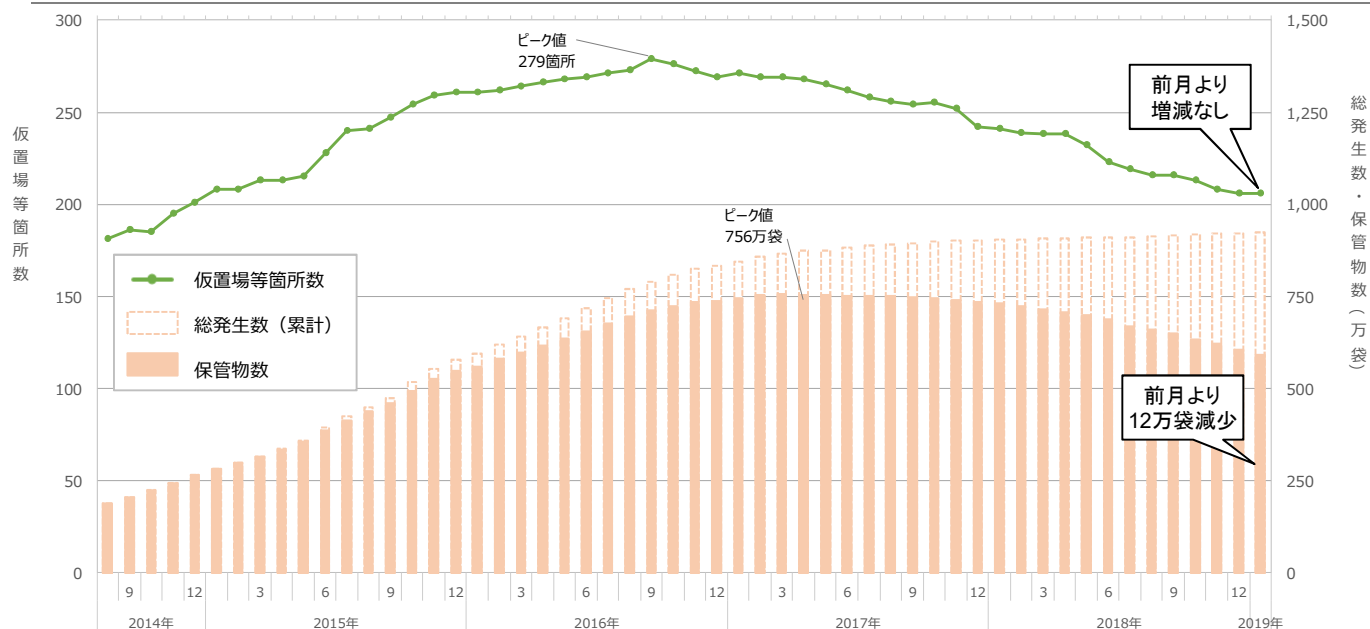
仮置場等の状況

（2019年1月31日時点）

市町村	仮置場等の総数	うち		
		保管中	搬出完了	原状回復完了
田村市	6	3	1	2
川内村	2	2	0	0
檜葉町	25	15	7	3
大熊町	18	7	5	6
川俣町	43	39	4	0
葛尾村	33	23	7	3
飯舘村	103	72	20	11
南相馬市	18	13	0	5
浪江町	41	20	2	19
富岡町	22	8	2	12
双葉町	11	4	1	6
合計	322	206	49	67

- 注1) 仮置場等 : 仮置場のほか、一時保管所、仮仮置場等を含む。
 注2) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。
 注3) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了し、原状回復等の作業中の仮置場等を示す。
 注4) 原状回復完了(返地済み) : 原状回復等が完了、または、地権者へ返地した仮置場等を示す。

仮置場等箇所数と保管物数の推移



直近1年間の推移

	2018年												2019年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
仮置場等箇所数（箇所）	239	238	238	232	223	219	216	216	213	208	206	206	
発生数（累計）（万袋）	906	907	908	909	910	911	913	916	917	920	922	924	
保管物数（万袋）	724	716	708	698	687	669	659	649	634	622	605	593	

- 注1) 仮置場等箇所数 : 除去土壌等を保管している仮置場等の箇所数を示す。
 注2) 保管物数 : 仮置場等で保管している数で、単位は「袋」。1袋当たりの保管物の体積は、おおむね1m³（ただし、保管物の体積減少により、1袋が1m³より小さくなる場合もある）。
 注3) 除去土壌等の総発生数約924万袋の内訳は、保管物数約593万袋、搬出済み数 約332万袋（うち仮設焼却炉への搬出は約228万袋、中間貯蔵施設等への搬出は約104万袋）
 ※数値は四捨五入して表記しているため、合計値は表示上の数字の合計と一致するとは限らない。

■汚染状況重点調査地域等（市町村除染）

仮置場等の状況

（2018年12月31日時点）

方部	市町村	仮置場等の 総数	うち 保管中	うち 搬出完了	うち 返地済み
県北	福島市	39	39	0	0
	二本松市	353	227	2	124
	伊達市	121	93	21	7
	本宮市	26	24	1	1
	桑折町	38	26	6	6
	国見町	11	10	1	0
	川俣町	22	18	4	0
	大玉村	13	10	1	2
県中	郡山市	23	23	0	0
	須賀川市	77	68	0	9
	田村市	97	95	0	2
	鏡石町	4	0	3	1
	天栄村	14	8	5	1
	石川町	1	0	0	1
	玉川村	1	0	0	1
	平田村	1	0	0	1
	浅川町	0	0	0	0
	古殿町	1	0	1	0
	三春町	6	6	0	0
	小野町	3	0	0	3
県南	白河市	11	2	2	7
	西郷村	3	3	0	0
	泉崎村	6	4	2	0
	中島村	1	0	1	0
	矢吹町	4	3	1	0
	棚倉町	12	0	8	4
	矢祭町	0	0	0	0
	塙町	1	0	0	1
	鮫川村	1	0	0	1
会津	会津若松市	1	0	0	1
	猪苗代町	6	0	0	6
	会津坂下町	1	0	0	1
	湯川村	1	0	0	1
	柳津町	0	0	0	0
	昭和村	1	0	0	1
	会津美里町	1	0	1	0
南会津	下郷町	1	0	0	1
相双	新地町	1	0	0	1
	相馬市	5	5	0	0
	南相馬市	37	35	1	1
	広野町	1	1	0	0
	川内村	9	9	0	0
いわき	いわき市	41	18	5	18
合計		996	727	66	203

注1) 「市町村が設置する仮置場の整備状況等について（平成31年2月25日 福島県生活環境部除染対策課 公表資料）」より環境省作成。

注2) 放射性物質汚染対処特別措置法施行前に設置された仮置場等を含む。網掛けは、汚染状況重点調査地域に指定されていない市町村（指定解除された市町村を含む）。

注3) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。

注4) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了し、原状回復等の作業中の仮置場等を示す。

注5) 返地済み : 原状回復等が完了し、地権者へ返地した仮置場等を示す。

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 31 年 3 月 1 日

【最新の進捗状況】

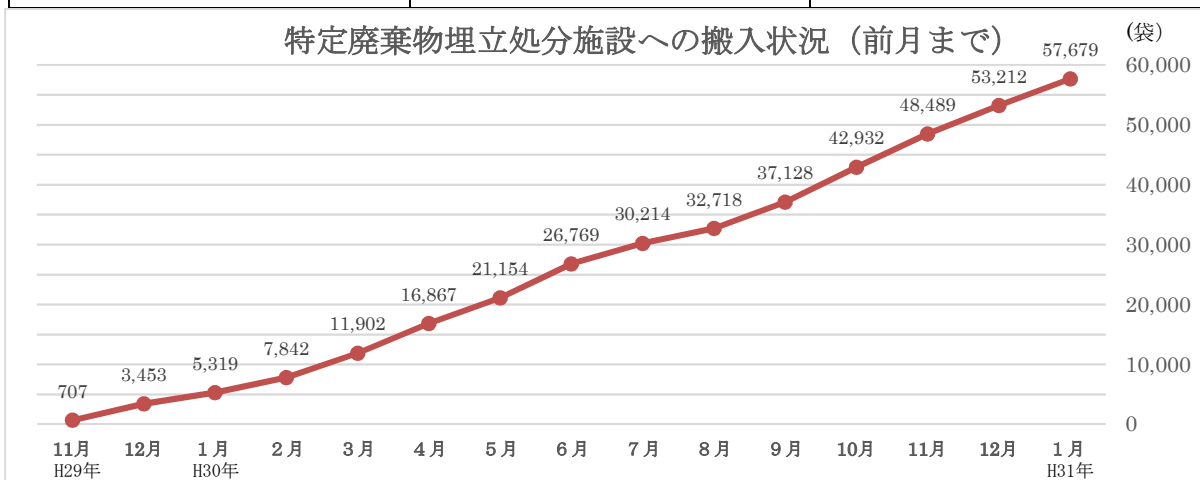
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
2/20～2/26	784	60,435

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月	5,319	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月	5,557	48,489
平成 30 年 12 月	4,723	53,212
平成 31 年 1 月	4,467	57,679
平成 31 年 2 月 (26 日まで)	2,756	60,435



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

【実施概要】

- 名 称：くるまざカフェ「ふくしま“みち”さがし」2019
- テーマ：いま、そして未来へ、何ができるのか？
- 日 程：2019年2月23日(土)13：00～16：30（受付開始／12：30）
- 場 所：コラッセふくしま 4F多目的ホール
- 主 催：環境再生プラザ（福島県、環境省共同運営）
- 後 援：福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島
ラジオ福島・ふくしまFM

【プログラム】

第1部 トークセッション

昨年10月と11月に開催されたふくしま“みち”さがし体験プログラムを通して、
現地を巡り感じた気づきをみなさまと共有しました。

●テーマ①「避難指示解除後の暮らしを知る」

ファシリテーター：越智 小枝さん（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 講師）
スピーカー：岡洋子さん（O CAFE）、石井絹江さん（石井農園）、和泉亘さん（あおた荘）、
小林直樹さん（浪江町役場）、久保香世さん（ツリークライミングクラブ どんぐりの芽）



●テーマ②「地域産業の再生の可能性を考える」

ファシリテーター：開沼 博さん（立命館大学衣笠総合研究機構 准教授）
スピーカー：遠藤秀文さん（株式会社ふたば）、内田政樹さん（株式会社しろはとファーム）
佐々木邦浩さん（富岡町役場）、菅野クニさん（ニコニコ菅野農園）、粥川準二さん（大学講師）



第2部 ワークショップ

4つのブースに分かれ、来場者のみなさまと一緒に「未来に向かって、今できることは何か？」
を考えました。参加者がブース毎に付箋に書き込んで意見交換を行い、各ブースから
発表報告などを行いました。

【参加者の主な感想】

「県内に住んでいるにもかかわらず、浜通り側のことを良く理解していないことを感じた。まずは、浜通りの状況を良く調べ、行くことが大事だと思った。自分が良く知り、そして発信できるようになりたい
みなで意見交換すると多くの考えを知ることができ、楽しい時間を過ごせました。」（郡山市30代男）

「それぞれ個性的なプレゼンテーションで内容もおもしろかったです。そこでの話でも、貴重な気づきがあり、有意義でした。時間はもっとあっても良いと思います。」（東京都60代男）

「いろいろな立場の方のお話を聞いて興味深かったです。次回はツアーに参加してみたいと思います。」
（福岡県30代女）

